

新点数研究会に 163 人が参加



淡路支部は3月29日に淡路市内で、新点数研究会を淡路医師会と共催。医療機関から163人が参加した。高橋雅彦先生、村野謙一先生、三木隆彦先生、大橋明先生が講師を務めた。高田裕先生が司会進行し、橋田友孝先生が情勢報告とともに署名への協力を訴え、TPP交渉撤退を求める署名が85筆、患者負担の軽減を求める署名が89筆それぞれ集まった。

淡路支部ニュース

2014. 4. 25
No.304

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-0051 洲本市物部
3-3-44 松本産婦人科内
TEL 0799-22-0073

Let's...

四月と言えば新学期、新年度予算等新〇〇で出発。そして今年消費税アップは承知していたが紙面トツプ的ニュースが続発し、各紙面テレビ画面は連日テンヤワンヤ？

韓国籍SEWOL号事件
ウクライナの問題

TPPを含めての諸問題

南太平洋からオーストラリアにかけての諸問題(捕鯨、地震等)

そしてオバマ米大統領の国賓としての来日等

そして医療界は加えて診療報酬の新体制、月始めは昼新点数で診療、夜は旧点数でのレセプト書き、皆様方がいいかでしたでしょうか?レセコン導入で昔のようではないようですが;ただそのコンピューターで変な事件が起こっているとか問題が近く起こるとか?

そして一応落ち着いたかなあと思ったところへ起こってくるのがGW問題、毎年毎週日で異なるので毎年対応を考えなければならぬのがGW問題である。特に診療科を始めとして各人の条件により本来に千差万別と言わなければならぬだけに更に面倒である。

消費税・診療費も予想範囲内であり、右記事件もやや対岸の火事的感があるのでむしろ興味的?それだけにTPP等いつ、どう変化するか勉強?しておかなければとも思いますが;今のところ問題はお天気?相変わらず寒暖晴雨異常で生活、健康に影響を与えている。もう一つ私が心配しているのは地震(心配しているのには対策はしていない)

安倍総理東奔西走ご苦労さまです。
【二十一日朝、松本記】

医療安全管理研修会

院内感染対策と新型インフルエンザへの対応学ば



スライドを用いた分かりやすい解説で基本を学んだ

淡路支部は4月19日、洲本市文化体育館で医療安全管理研修会を開催、48人が参加した。

講師に、県立淡路医療センター感染管理認定看護師の正司貴美子を迎え、院内感染対策と新型インフルエンザへの対応を学んだ。

感染対策の考え方として、感染症別に分けて処理する必要はなく、機材の処理にあたってはスポルディングの分類に応じて方法を定めることが必要であること、十分な洗浄ののちに消毒・滅菌を行うことが基本であることを解説。消毒・乾燥の際に気を付けてほしい具体的ケースをスライドで示しながら紹介した。

新型インフルエンザについては、患者の分離方法や、各

減点事例や算定方法などご相談ください

納得のいかない減点事例や、レセプトの記載、算定方法など、保険請求に関するご相談を受け付けています。困ったことがあれば、悩まずすぐにご連絡を。

お問い合わせは、Tel 078-393-1803
兵庫県保険医協会まで



医院での対応を考えておくことの重要性を指摘。県のホームページで感染症発生動向をチェックすることも有用であることを説明した。

兵庫県保険医協会第 85 回評議員会のご案内

2014 年 4 月
兵庫県保険医協会
議 長 三根 一乗
理事長 池内 春樹

協会は第 84 回評議員会後の半年、医療改善や経営対策、会員の身近な要求に応える活動など、様々な活動を行ってまいりました。2014 年度の活動方針を協議するため、標記の会議を開催いたします。万障お繰り合わせの上ご出席いただきますようご案内いたします。

■日時 **5 月 18 日(日) 13 時**~ ■会場 兵庫県保険医協会会議室

13 時~ 第 85 回評議員会

2013 年度会務報告と 2014 年度活動方針案の件、2014 年度予算案の件、ほか

15 時 30 分~ **特別講演**

「日本のエネルギー政策は いかにあるべきか」

京都大学大学院経済学研究科教授・経済産業省総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員 **植田 和弘 氏**

岐路に立つ日本。3・11の東電福島第一原発事故以来、エネルギーの見方から私たちの生き方そのものまでが問われています。有限の地球において、原発やエネルギー問題は どう捉えられ、真に重視すべきことは何でしょうか。成長の果てには何があり、将来世代にわたる幸せはどうすれば実現するのでしょうか。今こそ考えたい「そもそも論」を鋭く、深く問い掛ける講演です。講師の植田先生は、日本における環境経済学の草分け的存在で、政府の調達価格等算定委員会委員長や総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員などを務めており、第一線で活躍するエネルギー政策の専門家です。貴重な機会ですので、多くの先生方のご参加をお待ちしております。



うえた かずひろ・京都大学大学院経済学研究科教授。京都大学工学部卒業、大阪大学大学院博士後期課程修了。経済学博士、工学博士。専門は環境経済学。持続可能な日本社会への環境・エネルギー政策を研究。近著に『緑のエネルギー原論』岩波書店(2013)、『国民のためのエネルギー原論』日本経済新聞出版社(共編著、2011)など。大阪府市エネルギー戦略会議座長を務めた(『大阪府市エネルギー戦略の提言』富山房インターナショナル(2012)参照)。現在、調達価格等算定委員会委員長、総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員などをつとめている。

FAX 078 - 393 - 1802 までご返信下さい。

■第 85 回評議員会(5/18)に

出席します 欠席します

※いずれかに○印を
医科 / 歯科

地区 _____ 氏名 _____

兵庫県保険医協会

650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5F
TEL078-393-1817 FAX393-1802 組織担当 納富

※なお、当日は神戸まつり開催のため、各所で交通規制が予定されており、会場周辺は混雑が予想されます。なるべくお車でのご来場はお控えいただき、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

兵庫県保険医協会 第36回淡路支部総会

日時 5月31日(土)15時～

会場 洲本市健康福祉館3階(洲本市応急診療所の建物)

記念講演

15時30分～

在宅医療地域連携のコツ

医療法人おひさま会・理事長、やまぐちクリニック院長 山口高秀先生

共催：第一三共株式会社

地域連携という言葉は、叫ばれ始めて本当に久しいものですが、なかなか実際には難しいものがあります。それは、多職種連携であり、多組織連携でもあると同時に、文化も全く異なる「他」職種連携でもあり、「他」組織連携でもあります。そこには様々の思いの違いや信念の違いから、連携どころか対立すら生まれてしまうこともしばしばです。医療法人おひさま会では、その難所を乗り越えるために、おひさまネットワークを立ち上げてその運営は6年を超えました。

地域連携で起こる問題は、基本的にはたったふたつに集約されると思います。それは、「バラバラ問題」と「ハードル問題」です。この2つをどのように乗り越えるのか？そして、おひさまネットワークをしてもなお残る、その難所とは？

おひさまネットワークを運用して気づいた、その中で蓄積されたコツや勘所を、現場スタッフ交えて楽しくお伝えしたいと思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしておりますので、何卒ふるってご参加くださいませ！

【山口記】

お問い合わせは、TEL 078 - 393 - 1817 協会事務局：山下・楠まで

兵庫県保険医協会 第36回淡路支部総会(5/31)出欠確認

返信FAX 078 - 393 - 1802 事務局・山下あて

■支部総会／記念講演に

①ご出席()人 ②都合がつけば()人

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____ 代表者 _____